

2025年

第27回

総会議案書

開催日時：2025年5月25日（日）10:00～12:00

開催場所：長房ふれあい館・和室

特定非営利活動法人


市民ユニットりぼん

たすけあいワーカーズりぼん設立趣意書

…1993 年 4 月

日大人口研究所によれば、14 年後、65 才以上の人口は、世界で初めて 20%を超え、2025 年には、65 才以上の寝たきりは 228 万人、痴呆症（注 1）は 321 万人と現在の 3 倍になるそうです。この為、40 才代の未就業女性の 45%が介護に迫られるだろうという分析もありました。2025 年に 40 才代ということは、現在の小学生です。高齢化問題は、まさに私たち自身に、そして子供達にかかってくるのだと言えます。それに核家族化・小家族化が進む中、現代における孤独は、高齢者に限られる現象ではありません。泣きわめく赤ん坊を抱えて、途方にくれたり、病気や悩みによって、辛い思いをし、不安で泣いたりパニックになった経験のある人は多いはずです。家事労働も出産も子育ても親を看取することも、それらの多くは、女性の手によって支えながら、社会的に正当な評価がされることなく、やれて当然という社会通念によって追い詰められていくのです。今、私達は、ワーカーズコレクティブという新しい働き方を選び取りました。全員で出資し、働きながら運営し、雇われるのではなく、自主性、自発性に基づいた分担により、働き方もコントロールしていきます。お金を稼ぐだけの労働ではなく、働くことを自己表現のひとつとしてとらえ、生命を支える活動に自信と誇りをもって、取り組んでいきたいと思っています。アビリティクラブたすけあいと共に、今までの行政による福祉施策や民間の福祉サービス産業にはなかった市民主導による地域に開かれたたすけあいのしくみを作っていきます。そして老いても障害を持っても当たり前暮らし続けることのできる街づくりに繋げていきたいと思っています。

注 1) 2004 年に厚生労働省より差別的だとして公募により「認知症」に用語が統一された

NP0 市民ユニットりぼん設立趣意書

…1999 年 12 月

我が国の平均寿命は世界一の水準になり、文字通り最長寿国となりましたが、残念なことに、それは必ずしも、日本が、高齢者にとって最も暮らしやすい国だということを意味しません。また、かたや、出生率の低下により未来を担うはずの子どもたちの人口は減りつづけているといわれています。3 人に 1 人が 65 歳以上と言う「超高齢社会」は取りも直さず私たちの近未来の姿です。そしてそのことは、今までの家族の中だけでの支え合いの限界を意味するものでもあります。

地域でのささやかなたすけあいからスタートした私たちの活動もそれを裏付けけるかのように、在宅での高齢者の介護の需要が増加し続けています。

2000 年 4 月にはじまる介護保険制度も、そのような社会状況に対応しようとするものであり、6 年間、活動を積み上げてきた私たちも、生活する市民の立場から自らの問題として主体的に関わって行きたいと思っています。しかし公共サービスの担い手として行政セクターや企業セクターと対等な立場でパートナーシップを築いていくためには、法人格を持たない「任意団体」では、「契約の主体になれない」「所有の主体になれない」等、限界がありました。地域でのたすけあいを更に充実、発展させ、高齢になっても、障害をもっても、生き生きと暮らせる市民の共生社会を作ることの寄与するために、特定非営利活動法人市民ユニットりぼんを設立します。

NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする

市民によるたすけあいの理念とは

- ① お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという
相互扶助の精神を大切にします
- ② 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という
自己決定を尊重します
- ③ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議

第1号議案 2024年度活動・事業報告及び収支決算の件

- I. 2024年度活動・事業報告
- II. 2024年度収支決算報告
- III. 2024年度監査報告

第2号議案 2025年度方針案及び事業計画案

及び収支予算案の件

- I. 2025年度方針案
- II. 2025年度活動・事業計画案
- III. 2025年度収支予算案

第3号議案 役員改選の件

第4号議案 職員代表選出の件

第5号議案 代表理事報酬の件

6. 議長・書記 解任
7. 閉会

目 次

第1号議案

2024年度活動・事業報告及び収支決算の件

- I. 2024年度活動報告・・・・・・・・・・・・・1
- 2024年度事業報告・・・・・・・・・・・・・3
- II. 2024年度収支決算報告・・・・・・・・・・・・・9
- III. 2024年度監査報告・・・・・・・・・・・・・11

第2号議案

2025年度方針案及び事業計画(案)及び収支予算(案)の件

- I. 2025年度方針・・・・・・・・・・・・・12
- II. 2025年度活動計画・・・・・・・・・・・・・14
- 2025年度事業計画・・・・・・・・・・・・・15
- III. 2025年度収支予算・・・・・・・・・・・・・20

第3号議案 役員改選の件・・・・・・・・・・・・・21

第4号議案 職員代表選出の件・・・・・・・・・・・・・21

第5号議案 代表理事報酬の件・・・・・・・・・・・・・21

【資料】組織図

第1号議案 2024年度活動・事業報告、及び収支決算の件

I. 2024年度活動・事業報告

◆ 定款に沿った活動を行いました。

会員活動	
目標	総括
① 地域活動	
地域の交流の場として ひだまりの家やみんなの居場所 カフェリぼんを提供していきます	・“ひだまりの家”の空き曜日にリコーダークラブの活動場所として提供しました。・“みんなの居場所カフェリぼん”は、絵手紙や将棋のサークルなどに利用が広がりました。
障害者就労支援体験の場を提供 します	機会がありませんでした。
広報活動を推進します	・「おはなしりぼん」の発行は出来ませんでした。 ・「ホームページ更新」は通所の利用者アンケートなど、新しい情報を随時更新しました。
出前介護講習	・出前という形ではありませんでしたが、ケア時に、介護方法等を伝え、一緒におこない、支援する事が出来ました。
在宅心身障害者緊急一時保護 登録支援	・新規の登録者、利用はありませんでした。
利用者・地域方々・職員の交流 を考えていきます。	・ “秋の子どもまつり”に参加。 ・ 11月17日のいちょうまつりに合わせてひだまりの家で絵付け教室を開催し、大人こども合わせて34人の参加がありました。
まちづくり市民運動・政策提言	・生活クラブ運動グループ八王子地域協議会と連携が取れました。また随時アンケートなどに協力ができました。

②法人内活動

ひだまりの家支援 庭作りボランティア 登録ボランティア	<ul style="list-style-type: none">・定期的に庭の草むしりや枝の剪定、野菜苗の植え付けなど1年を通して活動出来、ご利用者の方々に庭を楽しんでいただけました。・感染症に配慮しながら、定期的に楽器演奏会が開催できました。・傾聴等を通し交流が深まりました。
みんなの居場所カフェりぼん支援	<ul style="list-style-type: none">・開所時のお当番ボランティアのコーディネートが出来ました。・庭の枝、草刈りを定期的に行い、地域の方々が気持ちよく利用できるよう環境整備を行いました。
救急救命講習会	<ul style="list-style-type: none">・八王子消防署と日程の調整ができず開催できませんでした。
会員交流会	<ul style="list-style-type: none">・実施できませんでした。

2024 年度事業報告

介護サービスりぼん											
目 標			総 括								
事業	目 標	実 績	・ 2023 年度は月平均 1 件の新規受け入れだったが、2024 年度はその倍、2 件強を受け入れることができた。サービス提供責任者 4 名という体制によるものと考えられる。入院や入所によりケア終了となることも多く残念ながら実績は伸びなかった。								
介護	260	230									
予防	50	56									
障害	180	145									
自費	20	10									
合計	510	440									
(単位時間/月)											
従業員数 常勤 4 名 登録ヘルパー 8 名			・ 2025 年 3 月に 1 名の入職、2024 年 6 月に 1 名の退職があった。 ・ 非常勤職員は希望する働き方ができたとの意見が多かった。次年度は現状よりも就業時間を減らしたいとの意向が数名から上がっている。 ・ 常勤職員は 4 名がサービス提供責任者として職務に当たった。新サ責 2 名は新規利用者を担当。机上だけでなく、上級サ責の同行を受ける OJT の機会も設けることができた。目標とした担当利用者数は概ね達成できた。								
本人が安心して介助を受けられるような 介護技術の獲得			・ 講師を招いての法人研修「虐待に関して」に 7 名参加した。顔を合わせ意見交換などができるよい機会となった。								
責任ある労働の提供			・ 連絡体制は整っていると思うが、災害時においては現在の体制では不足と思える。法人全体でより安心できる連絡体制を構築したい。								
地域社会活動			・ 在宅介護初心者への訪問指導は無かった。								
苦情・事故・ヒヤリハット			苦情：0 件								
			破 損	ケア忘れ	ケアミス生活	ケアミス身体	遅 刻 な ど	物 品 持 ち 帰 り	私 物 忘 れ	手 配 ミ ス	ひやり は っ と
			0 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	1 件	1 件	0 件

ケアプランサービスりぼん	
目標	総括
事業実績 介護 1032 件 予防 369 件 認定調査 465 件	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院、入所、区分変更申請が必要な利用者が多く実績に結びつかないケースが増えているなどの理由が挙げられます ・新規申請や区分変更している状態での依頼が多く予防、介護のプランを作成し支援開始するが認定結果が要支援となり予算計画通りの収入にはありませんでした
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤 2 名 非常勤 2 名でスタート、9 月より新たに非常勤ケアマネの入職あり 5 名でケアマネージメントを行いました。 ・ケアマネ同士の意見交換、情報交換など活気が出、職員の士気があがる等効果をもたらすことが出来ました
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中立公正な立場で利用者のニーズにあった情報提供を行い自ら選択出来るよう支援を行うことが出来ました。 ・チームの他職種と連携することで支援内容の見直し、共有化を図り利用者が自立した生活が出来るよう支援しました ・年 1 回の健康診断を行い自分の体調を把握し心身共に健康な状態で業務を遂行しました。また、感染症マニュアルに添って予防に努めました ・年 2 回の研修、訓練に参加し非常時も継続してサービス提供が出来る様努めました
サービスの質向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合ったフォーマル、インフォーマルサポートの情報提供が行えるよう努力しました。 ・疾病、障害や家族構成等、それぞれの課題に傾聴し安心して暮らせる様関係機関と連携を図り解決に向けて支援をしました。 ・事故、苦情、ひやりハットを共有し再発を防止しました ・月 1 回ミーティングを開催し情報共有を図り、担当者が公休日であっても他のケアマネジャーが対応することが出来ました。
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「元八みんなのわ」プロジェクトに参加。今年度は開所 1 年目のサロンと 10 年経過したカフェりぼんが開所経緯と内容の紹介を行いました。
苦情・事故 ひやりハット	苦情 なし ひやりハット なし 事故 ①要介護 1 の利用者が体調急変し急遽床ずれ予防マットを導入の必要あり対応したが「軽度者福祉用具貸与申請」を行うことを忘れて国保連に請求した。半年後の点検で返戻となり自己負担となるため保険にて福祉用具事業者に支払いを行う措置を行いました。

ひだまりの家		
目標		総括
2024 年度 事業実績		<ul style="list-style-type: none"> ・利用中止の利用者が多い中、新規利用者の受け入れも随時行えた。 ・売り上げ目標に達成することができた。 ・利用者の状況変化が大きく、その方に合った環境作りや工夫をすることで安心して過ごせる場所と時間を提供できた。 ・教職取得の為の介護体験生（大学生）の受け入れを行い、それぞれの刺激となり日々のプログラムの充実へと繋がった。
介護目標	介護実績	
11.5 人/日	10 人/日	
予防目標	予防実績	
1.5 人/日	1.6 人/日	
従業員数		<ul style="list-style-type: none"> ・4月にパート介護員1名入職あり 職員は、常勤職員1名、週32時間の準常勤職員2名 パート職員は、介護員5名、看護師3名、調理員3名、運転手1名
サービスの質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の状態変化や月の報告などをケアマネジャー等に行うことができ、サービス機関との連携を図ることができた。 ・苦情事故ひやりはつとを随時報告し、会議等でスタッフ間共有することができ、再発を予防できた。 ・利用者アンケートを実施し、結果内容を職員間で共有して質の向上に努めることができた。 ・全体の研修は実施できたが、職種別研修の充実が図れなかった。 ・職員の自己点検表から、自分が足りない部分を職員間で共有することができ、日々の質の向上に繋げることができた。 ・運営推進会議を9月と3月に実施し、地域の方の声を聞くことができた。
栄養管理		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の素材を取り入れバランスの取れた食事を提供することができ、食を通じて楽しみを感じてもらえた。急な病態による対応や、個別の対応が多くなる中、職員間で連携を図り対応することができた。 ・材料費の高騰の中、生協での注文と買い出しを行い、食材や調理法を工夫し提供できた。
安全衛生管理		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、手洗い、消毒、マスク、換気、検温を徹底し、全員に理解してもらえるよう日々の中で声かけの仕方などを工夫した。 飲食時は密を避けた席の配置を整え、アクリルを板使用し感染予防に努めることができた。職員は感染防止の為一人ずつ昼食を摂ることができた。
災害対策及び 施設管理		<ul style="list-style-type: none"> ・地震及び火災を想定し訓練を行うことができたが地域と連携した訓練は実施できなかった。地域の防災訓練には参加することができた。
地域社会活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや職場体験等の学生受け入れが実施できた。 ・地域交流として、いちよう祭りの日にお皿の絵付け体験を実施し、34名の参加があった。
苦情・事故		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情はなし。事故ひやりはつとは、それぞれ会議で共有し対策を検討できた。運営推進会議及び八王子市への事故報告を行った。

みんなの居場所カフェりぼん			
目標		総括	
286,000 円		実績 289,600 円 八王子市ふれあい・いきいきサロンの見守り加算(80,000 円)を申請しサロン参加者(スタッフ含む)同志の見守り活動を実施した	
		年間活動日数	年間参加人数
		237日	1,899人
		年間スタッフ人数	269人
従業員数		登録ボラ 10名 月～金 13:00～16:00	
目的に沿った活動 企画		喫茶の提供 ・木目込み 第一木曜日に開催予定だったが参加者がおらず開催無し ・健康マージャン 毎月2回開催し、3人～8人位の参加者が集まり楽しむことが出来た。 ・絵手紙 第一金曜日 はがきに下絵をコピーし色を塗る形で4～5人の参加。終わった後はウクレレの伴奏で歌を楽しんだ。 ・ラジオ体操を随時行った。 ・ワコインコンサート 6月23日(日) 大正琴演奏会 10名参加 11月22日(日) オカリナ演奏会 20名参加 ・手作り講習会 第二金曜日牛乳パックなど身近な材料を使って5人～6人の参加があった。 ・ビデオ視聴会は出来なかった	
その他		① 参加者同士、自主的に歌集を手に声を出して歌ったり、決まった曜日に集まって囲碁将棋を行い楽しい時間を過ごすことが出来た。 ② 夏休み、年末年始休み以外開所することが出来た ③ 10月1日(土)に諏訪団地秋のこども祭りに参加。あいにくのお天気だったが、バイオリンの竹内さんの演奏で楽しんでいただいた。 ④ 3月29日(土)「みんなでつながろう元八のわ」プロジェクトに参加し、カフェりぼんの紹介をおこなった	
助成金		八王子市一般予防サロン活動支援事業「常設サロン」支援金 320,000 円(見守り加算 80,000 円を含む)受給	

法人事務局														
	総括													
	・法人の円滑な運営のための取り組みを行いました。													
セキュリティ管理 個人情報保護	・随時行いました。													
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・“りぼん手帳”をリニューアルしてメンバーに配布し読み合をしました。 ・各部門と協力し虐待防止研修を実施し、18人の参加がありました。 ・各メンバーに下記の規程、資料をファイルにして配布しました。 <ol style="list-style-type: none"> ① 法人職員倫理規程 ② 「職員倫理規程」に基づく行動指針 ③ 虐待防止対応規程 ④ 虐待防止委員会 ⑤ 虐待対応 フォローチャート ⑥ 感染症の予防及びまん延の防止のための指針 ⑦ 介護職員のための感染対策マニュアル(訪問系)(通所系) ・BCPについて 													
安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザワクチンの予防接種を推進しました。 ・業務車両の安全な運転のため、安全運転管理者のもと、各自の運転前後のアルコールチェックを促し記録を残しました。 ・介護職員腰痛予防のストレッチ体操のチラシをメンバーに配布しました。 ・従業員健康状況報告 <table border="1"> <tr> <th>労災申請</th><th>勤務制限必要者</th><th>休業必要者</th><th>出勤停止者</th><th>復職者</th></tr> <tr> <td>0人</td><td>0</td><td>0人</td><td>2人</td><td>2人</td></tr> </table>				労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者	0人	0	0人	2人	2人
労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者										
0人	0	0人	2人	2人										
労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務時間の管理、就業規則、所定労働時間の遵守に努めました。 ・職員の健康を維持するため、年1回の定期健康診断の受診を促進し、9割の職員が受診しました。健診結果を参考に健康状況を各部門管理者とともに把握しました。 													
法人会員管理	正会員数 38名 (3月31日現在) 賛助会員 0名													

会議報告	・ 理事会	4 回開催
	・ 理事運営会議	1 5 回開催
	・ 安全衛生委員会	5 回開催
	・ 感染症予防委員会	2 回開催
	・ 虐待防止委員会	4 回開催
	・ ハラスメント防止委員会	1 回開催
	・ BCP 検討委員会	2 回開催
	・ 苦情事故検討委員会	1 回開催

総務	
	総括
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問部門、通所部門と連携を取りながらそれぞれ処遇改善加算Ⅱと処遇改善加算Ⅰを申請・取得しました。これに伴い取得要件である職場環境要件、キャリアパス要件の見える化を訪問部門、通所部門と連携を取りながら進めました。 ・ 共有化できたこと <ul style="list-style-type: none"> 会計ソフトの操作、通所小口現金の会計処理、なんでも隊 介護ソフトと連携して請求書作成まで、処遇改善金の職員別支給額の計算 ・ 連携がとれていること <ul style="list-style-type: none"> 介護ソフト、通所国保連簡易ソフトと連携して請求書作成まで 	

II. 2024年度収支決算報告

III 2024年度監査報告

第2号議案 2025年度方針及び事業計画(案)及び収支予算の件

I. 2025年度方針

○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・ メンバーひとりひとりの協力のもと経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・ 利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・ 地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

■ 地域に根ざした法人を目指す

1993年、「老いても、障がいをもって、当たり前で暮らし続けることが出来るまちづくり」を目指して「たすけあいワーカーズりぼん」が誕生し32年となります。

1999年に任意団体の「たすけあいワーカーズりぼん」から「NPO法人市民ユニットりぼん」へと名称を変え私たちが任意団体として活動してきた一部は公的な介護保険サービス、障害福祉サービスとして確立し設立当初からみると経営的にも安定した時期が続きました。

2024年度には訪問介護の基本報酬が下げられるという介護保険制度改定が行われ、ここ数年人員不足に悩まされて来た事業所には二重の痛手となり廃業せざるを得ない事業所があるというニュースを見聞きする1年でした。

当法人は幸い32年という長い期間、みんなで育てて来た根っこがあったことで持ちこたえることが出来ました。しかし、今後も同じように事業を継続していくためには経営的にも人力的にも厳しい崖っぷちにあります。

今年度は、何度も検討を重ね熟慮した結果、もう一度全員で力を合わせ、私たちが求めて下さる利用者の意向に添い、より質の高い支援を提供していくべく覚悟を持って頑張っていくことを方針としました。

その為には、漫然と同じことを繰り返すのではなく、新たなスタートラインに立ち、地域が求めていること、課題を受け止め、自分たちに何が出来るか、考える1年にしたいと思います。

地域に根ざした福祉の拠点として活動を広げ、32年の歴史をまた刻むことが出来る様みんなで意見を、知恵を出し合ひましょう。

そして、新しい「市民ユニットりぼん」としてより力強くスタートを切れるようにしたいと思います。

■サービス提供体制の充実を図り、サービスの質の向上を目指します

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止を徹底します。
- 安全衛生委員会、虐待防止委員会、ハラスメント防止委員会、感染症予防対策委員会、事業継続計画検討委員会を随時開催します。
- BCP(事業継続計画)のマニュアルをもとに訓練、研修等を行いサービスの継続を図ります。
- すべての職種に共通した研修(虐待防止、ハラスメント防止、感染症予防等)を実施し、各種職種別研修の参加を推進します。
- 法人全体で個人情報保護に取り組んでいきます。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 職員の健康に配慮し、責任あるサービスの提供に努めます。

■誰もが集える場所、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

- 地域を知って地域のニーズをひろいます。
- 公的なサービスでは解決出来ないサービスを作ります。
- 会員数を増やしていきます。
- スタッフも、地域の人も、誰もが楽しく集える場所を作ります。
- 地域の顔が見える関係を作ったすけあいの輪をひろげていきます。

Ⅱ. 2025年度活動・事業計画

会員活動

【地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます】

①地域活動

- ✧ 地域の交流の場として、ひだまりの家やみんなの居場所「カフェりぼん」を提供していきます。
- ✧ 障害者就労体験の場を提供します。
- ✧ 広報活動を推進します。
 - ◎ホームページの内容を充実させ、広く法人の活動を広報していきます。
- ✧ 出前介護講習
在宅介護初心者の方の自宅に出向いて介護方法等の講習を行い介護者を支援していきます。
- ✧ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録推進します。但し「コーディネート」は行いません。
- ✧ 従来の「結びの会」の開催は行わず、利用者・地域の方々・職員の交流を考えていきます。
- ✧ 市民運動・政策提言
地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ✧ 他団体と共に地域福祉の向上及び地域包括ケアの活動に参加します。

②法人内活動

- ✧ ひだまりの家の支援を行います。
 - ◎庭作りボランティア
 - ◎登録ボランティア
- ✧ みんなの居場所カフェりぼんの支援を行います。
 - ◎開所時のお当番ボランティア
 - ◎庭の草むしりや、環境整備のボランティア
- ✧ 救急救命講習を実施します。
- ✧ 会員交流会を実施します。

介護サービスりぼん	
目標	方針
事業内容	介護保険介護給付事業、介護予防・日常生活支援総合事業、障害福祉サービス、八王子市移動支援事業、自立支援事業（なんでも隊）
目標件数	介護保険 240 時間 予防 50 時間 障害 150 時間 自費 20 時間 合計 460 時間
従業員数	常勤 4 名 登録ヘルパー 9 名
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援 ・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得 ・ 責任ある労働の提供
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年 1 回の健康診断を推進します。 ・ 毎月 1 回の常勤職員業務会議を実施し情報の共有を図ります。非常勤職員には業務ニュースとして配信。それぞれが情報を適切に得て安心して業務対応できる環境を作ります。 ・ 法人と連携し研修計画をたて、参加を推進します。
地域社会活動	在宅介護初心者の自宅に出向き介護方法等の講習を行い介護者の支援を行います。

ケアプランサービスりぼん	
目標	方針
事業内容	要介護者支援 要支援者委託支援 認定調査
目標件数	<p>介護 97 件（管理者 20 件 常勤 30 件 非常勤 16 件 非常勤 16 件 非常勤 15 件）</p> <p>予防 37 件（管理者 10 件 常勤 10 件 非常勤 6 件 非常勤 6 件 非常勤 5 件）</p> <p>認定調査 40 件</p>
従業員	常勤管理者 1 名 常勤 1 名 非常勤 3 名
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中立公平な立場で利用者のニーズに合った情報提供を行い、利用者、家族が自ら選択できるよう支援を行います。 ・ 他職種と連携を図り支援内容の共有化を図り利用者が自立した生活が出来る様支援します。 ・ 年 1 回従業員の健康診断を実施し健康な身体と精神で業務を遂行していきます。 ・ 感染症予防マニュアルに添った対応、研修に参加し予防に努めます。 ・ 年 2 回研修、訓練に参加し非常時にも継続してサービス提供が出来る様努めます。
サービス質の向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズにあったフォーマル、インフォーマルサポートの情報提供を行い持てる力、望む生活の支援を行います。 ・ 介護保険制度施行されて 24 年経過し利用者像も変化しつつある中、利用者の意向をサービス事業者と共有し向上に向けて連携していきます。 ・ 事故、苦情、ひやりハットを共有し再発を防止していきます。 ・ 研修には積極的に参加し経験値だけに頼らず新しい知識を習得しスキルアップを目指します。 ・ 月 1 回ミーティング開催し情報共有を図り担当者が不在でも問い合わせ等の相談に答える事が出来る様努めます。
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「元八みんなのわ」プロジェクトに参加し地域の課題解決の為、ともに考え活動していきます。

ひだまりの家	
目標	方針
事業内容	地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業 延長利用の自費サービス
目標件数	・要介護 11.5 人/日 要支援 2.0 人/日
従業員数	・常勤職員 1 名 ・準常勤職員 2 名（32 時間/週） ・非常勤職員 13 名（介護員 5 名、看護師 3 名、調理員 3 名、運転手 2 名）
事業運営方針	・小規模を生かし、家庭的な施設を目指します。 ・利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
サービスの質の向上	・プログラム内容の充実を図り、本人及び介護者の支援をします。 ・ケアマネジャーとの連携を図り状態変化等の報告を迅速にします。 ・利用者アンケートを実施し、サービスの満足度や要望の確認をします。 ・ひやりはつとを見落とさずに報告し、会議等で対策を検討して再発防止に努めます。 ・職員の連携を図り、サービスが充実できるように努めます。 ・各職種に関わる研修を受講し、サービスの質の向上及び虐待防止に努めます。 ・運営推進会議を年 2 回開催し、日々の活動状況報告や、感染症予防対策、虐待防止対策、非常災害対策、業務継続計画について話し、意見を頂く等地域との連携を図ります。
栄養管理	・季節の素材を取り入れ、バランスの良い献立で提供します。 ・お誕生日御膳や行事に合わせたメニューを取り入れ、食の楽しさを提供します。 ・個別対応及び病態による対応を適時します。
安全衛生管理	・感染症を理解し、手洗いなどの感染症対策を徹底します。 ・食品等の衛生管理に努め、定期的な検便を実施します。
災害対策及び 施設管理	・避難訓練を利用者と共に実施します。 ・日々の整理整頓を心がけ、危機管理に努めます。
地域社会活動	・防災の意識を高め、地域の方と訓練を共有するように努めます。 ・地域や他団体との交流を深め、学生やボランティアの受け入れを積極的に行います。

みんなの居場所カフェりぼん	
目標	方針
296,500 円	八王子市のサロン助成金を申請 320,000 円 月～金 13:00～16:00 の開所
活動内容 目的に沿った活動	<p>【目的】</p> <p>1、地域の人たちが昔の縁側の様に気軽に立ち寄れる交流の場とします。</p> <p>2、公的サービスだけではニーズが満たされない高齢者の行き場として、居場所を開放し特技を生かしてもらいます。</p> <p>3、地域の方々や職員の交流の場、特技を生かす場として活用します。</p>
企画	<p>喫茶 ビデオ視聴会</p> <p>ワンコインコンサートの開催(年3回 6月、12月、3月) 絵手紙 (第一金曜日) 木目込み(第一木曜日) 健康マージャン(月二回水曜日) 手作り講習会 (第二金曜日) バザー&健康相談 栄養相談講習会 毎回ラジオ体操、握力計を使っの自己健康観察 サークルへの場所貸しは随時</p> <p>町会の秋祭りの参加</p>
その他	<p>*気軽に立ち寄れる居場所として企画を考えて行きます。</p> <p>*多世代が楽しめる企画を催すことで利用者層の拡大を図ります。</p> <p>*他団体(サロン、居場所など)との交流を行っていきます。</p> <p>*ボランティア、スタッフで地域、利用者の見守り活動を行い、高齢者あんしん相談センターと連携して介護重症化を予防していきます。</p>

法人事務局	方針
<p>法人活動が停滞しないように会議を工夫し、りぼんニュース、部門の会議などに情報を発信していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。 ・法人の円滑な運営の充実を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 1、個人情報保護に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ委員会を随時開催します。 2、安全衛生管理に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防の基本を守ります。 ・安全衛生委員会を随時開催します。 ・従業員の勤務時間の管理の徹底を継続。また、働き方改革の労基法を順守します。 ・従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します 3、職員向けの研修を各部門と協力して開催します。 4、業務車両の安全な運転のため、安全運転管理者のもと、各自の運転前後のアルコールチェックを継続します。 5、BCP（事業継続計画）のマニュアルをもとに推進を図ります。 	
総務	
方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・会計業務の引継ぎ <ul style="list-style-type: none"> ★日商簿記3級免許を持っている方の経理事務員の募集を行う。 ・処遇改善金を受取るためにキャリアパス要件と職場環境要件を満たす必要があるので、引き続き関係他部門と連携をとってこれに取り組み、実施済みのものについても見える化、定着化をすすめる。 	

第3号議案 役員改選の件

理事候補者	青山 登
	井上 智恵
	指宿 恵美子
	内田 富美子
	鈴木 真砂子
	奈良 倫子
	早川 寛子
	木下 清子
監事候補	長田 洋一

第4号議案 職員代表選出の件

内山 明美

(任期 2025.6.1～2026.5.31)

第5号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 20,000 円とする。

ただし、別途職員としての業務に対し給与等を
支給することを妨げない。

